

令和7年度 第2回都市緑化専門部会 会議概要

■日時

令和7年6月17日（火）13時55分～15時50分

■場所

千歳市役所本庁舎 2階庁議室

■出席者

委員出席者：外崎委員（部会長）、竹田委員、津田委員、山根委員、佐々木委員、渡辺委員
（計6名）

委員欠席者：井溪委員、古幡委員

事務局：都市整備課長ほか3名

市：都市整備課公園整備係長

■会議結果

- 1 開会
- 2 都市整備課長挨拶
- 3 議事

- (1) 目標設定
- (2) 施策内容
- (3) 重点施策
- (4) 施策の実現に向けて
- (5) 計画タイトル
- (6) 今後のスケジュール

【決定事項】

- ・上記(1)～(4)及び(6)について、会議資料に基づき事務局から説明を行い、内容について検討を行った結果、概ね事務局案のとおり進めていくことが決定された。
- ・(5)計画タイトル案は、“令和8年度版”を“2026年度版”（西暦）で表記することについて、検討することとなった。

- 4 閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1 議事「(1) 目標設定」及び「(2) 施策内容」について

【部会長】

今まで協議してきたことがうまくまとめられている。施策がたくさんあるので、実現に向けてどのように進めていくかが大事なことだと思う。

【委員 A】

施策内容は問題ない。20年計画なので、引継ぎがきちんとできるかが課題。「つくる」の項目が多いが、手厚く維持管理するのであれば予算が必要となり、社会情勢も変わっていくので、指定管理の内容を定期的に見直すなどでできればよいと思う。

【事務局】

指定管理については、次の指定期間が令和9年度から始まるため、指定管理料の積算に当たっては、施策の内容を勘案することになると考えている。

【委員 B】

前回の専門部会で提示された緑化振興事業の細かい数値がなくなり、全体としての方針が示されたことから、20年の間に人事異動で人が変わったとしても、施策や目標の達成に向け、色々な方法で取り組める形になっており、良いと思う。見直し時においても、どうすれば現状を維持していけるかなど、みんなで考えていける目標の設定になっていると思う。

【委員 C】

20年間の計画なので、具体的な内容ではなく、このくらいの理想を掲げる内容で良いと思う。

【委員 D】

樹木の維持管理において、老木や枯損木の伐採・剪定の基準はどうなっているのか。狭い植樹柵の中で木が大きくなり、伐採されて幹だけになっているものを見ると可哀そうに思うことがある。最初から、電線にかからないような低木を選んではどうか。木は大きくなるので、20年、30年先を見据えて植樹してほしい。

【事務局】

老木・枯損木の判別は専門業者に伺い、委託業務で伐採を行っている。

危険木については、緊急的に伐採することもあるが、健康な樹木については、信号や標識を覆い隠したり、視界を妨げるなど、支障木の扱いとなるものに対し剪定や伐採を行っている。大木化した木の取扱いは今後考えていかなければならない。

【委員 D】

希少種と外来種は、市で把握しているか。

【事務局】

環境課において、毎年「千歳市環境白書」を発行しており、千歳市内で確認されている希少種や特定外来生物について掲載しているので参考にしてほしい。（スクリーンに千歳市環境白書を投影）

【委員 D】

施策を推進するに当たり、色々な業務が増えるとともに予算も増えるので大変だと思うが、頑張してほしいと思う。

【事務局】

組織体制の強化も含め、庁内で調整していきたいと考えている。

2 議事「(3) 重点施策」及び「(4) 施策の実現に向けて」について

【部会長】

人材を育成するためには人手が必要になると思うが、人手が不足する中でいかに育てていくか、周囲を巻き込んでいくかが課題になると考えており、次の世代に引き継ぐことが大事だと感じた。

【委員 A】

緑化リーダー研修はどこでやっているのか。

【委員 C】

毎年、ちとせ環境と緑の財団で行っている。年5回+翌年1回の6回がセットになっており、研修終了後は修了証を発行している。

【委員 A】

重点施策のPark-PFIについて、施設から得られる収益を公園整備に還元とはどういう意味か。事業者にメリットはあるのか。

【事務局】

公園内に設置する収益施設をカフェとした場合、カフェの営業により事業者が得た利益の一部を、公園の園路や広場などの整備に充当するという意味である。

事業者側のメリットとしては、通常の設置管理許可が最長10年間のところ、特例措置として20年まで延長可能になり、長期的な事業運営が担保される点と考えられる。

【委員 A】

今までキッチンカーの出店はあったが、常設の施設はない。

【事務局】

手始めに、今年度はキッチンカーの公募を予定しており、ニーズの把握や Park-PFI の活用に向けた検討材料とするため、利用者と事業者に対しアンケート調査の実施を考えている。

【委員 A】

いい発想だと思う。子ども連れの親御さんは軽食などがあれば 1 日中過ごすことができる。

【委員 B】

緑化リーダー研修については、リーダー的存在を育てるために連続講座に変えていった経緯があり、連続 2 回、3 回と増やしていき、現在の 6 回連続講座になり、参加者も増えた。研修の開催には知識や労力、時間がかかるが、本格的になればなるほど、宣伝すればするほど参加者が増えるという手ごたえを感じており、人材育成一つにしても、色々な方法があると思っている。

Park-PFI については、日比谷公園の入口に日比谷公園花壇という花の老舗があり、ガーデニングショーなども開催されており、全国から人が集まってくる。そのような事例もあるため、公園は建物を建てるだけでなく、色々な活用法があると考えている。

施策の実現に向けては、PDCA+R のサイクルを何年かけて一周するのか、次元の目安が必要と考える。

【委員 C】

専門部会における次回の議題は、素案の検討となっているが、具体的なものが書かれるイメージか。

【事務局】

これまでの専門部会や緑化審議会において検討してきた内容を盛り込み、冊子形式にしたものを確認していただく予定であり、部会資料の内容が素案にも記載されるイメージである。

【委員 D】

目標実現に向けた具体策があるともっと実感がわく。結果はどういった形で評価するのか。

【委員 A】

最終的な評価は誰が行うのか。

【事務局】

緑化審議会において委員が評価することを想定しており、PDCA+R サイクルの「R」の部分で取組などの記録・蓄積を行っていきたいと考えている。中間見直しは 10 年後に予定しているが、社会情勢の変化に合わせ、適宜見直しを行う。必要に応じ、市民アンケート調査などを行いながら満足度や達成度を確認していくことも視野に入れている。

緑の基本計画は緑の保全や整備・管理などに関する方針を定めるものであることから、目標実現に向けた具体策については、実施計画などを別途作成し、推進していきたいと考えている。

【委員 D】

Park-PFI はどの公園で行ったらよいと思うか。

【委員 A】

都市公園の中でも、規模の大きな公園が良いと思う。大きな公園はパークゴルフ場や多目的広場などがあるので人が集まりやすい。

【委員 D】

遊びに行く際の荷物のことを考えると駐車場があることも大切だと思う。

【事務局】

青葉公園や地区公園は、比較的駐車場は広い。

【委員 D】

施設を建てるとなると公園の利用者数や利用者属性についての情報が必要だが、その辺りは調査しているのか。出店側は利用者数などが気になると思う。

【事務局】

パークゴルフ場の利用者数や、公園の利用届、許可申請などで一部把握できる部分はあるが、現段階では公園の利用者数や属性などの調査は行っていない。

今年度、キッチンカーの公募を予定しているため、どのくらいの集客があるか等、調査していきたいと考えている。

【委員 D】

恵庭のはなふるでボランティアをしているが、公園内にあるスターバックスの従業員もボランティアに参加しており、店舗周辺の魅力向上に貢献しているところが素晴らしく、店舗周辺が綺麗だから一体的に盛り上がっていくのだと感じた。Park-PFIの活用に当たっては、公園の魅力を高めなければ店舗にも行きたいという気持ちになりづらいため、公園の管理は大切だと考える。

3 議事「(5) 計画タイトル」及び「(6) 今後のスケジュール」について

【事務局】

計画タイトルは、「千歳市緑の基本計画」の“緑”をひらがなにしてい柔軟なイメージにするとともに、“令和8年度版”を追記することで、改定時期がわかるように示したい。

また、次回は7月28日に緑化審議会の開催を予定している。

【委員 C】

“令和8年度版”の表記について、20年後だと年号が変わっていると思うので、西暦表記の方がよいのではないかと。

【事務局】

西暦の方がわかりやすいと考えることから、検討する。

4 閉会

次回の審議会は7月28日(月)14時からを予定している。専門部会は9月初旬に素案の検討を予定している。

南家委員は推薦元である「千歳市子ども・子育て会議」の委員任期が6月末で満了となるため、今回が最後の参加となる。計画素案の検討が終盤を迎えているとともに、これまでいただいた意見を施策等へ反映済みのため、現時点では新たな委員の委嘱は行わない予定である。

以上